



第292号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 市丸加奈子 / 石野瑠璃  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成25年度 臨時総会開催－26年度事業計画・予算等が承認されました－ ..... 1～2
- 《各部局報告》 ..... 2～3
- 《行事予定表》 ..... 4～5
- 《賛助会員コラム》・《めらんじゅーるな空間》・《求人情報》 ..... 6～7

## 平成25年度 臨時総会開催 －26年度事業計画・予算等が承認されました－

平成26年3月21日 兵臨技研修センターに於いて臨時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。

### <審議経過>

総会議長に松尾美也子会員（県立がんセンター）、書記に宇都宮加奈会員（甲南加古川病院）が選出され、総会資格審査では、当日出席 32名、委任状出席1,287名、議決権行使書提出者 220名で会員の過半数の出席を得て総会が成立し、議案審議が開始された。

### <平成26年度 事業計画案>

当会は今年度公益社団法人の取得3年目を迎え、公益事業に重点を置いた事業展開を行う。会の創立当初より基本的な理念としてきた「公益」「学術」「職能」を前面に打ち出し、それに沿った事業を推進、継続、発展させていくことが重要である。また、日臨技の事業活動にも符合した事業計画を加味し、連合体の一員として推進させる。

平成26年度の事業計画については、従来の形式から変更して、詳細な事業計画でなく、柔軟性と機能性を備えると共にコンプライアンスに沿った提出形式とする。また、平成25年度の事業、財務、事務処理等の評価を行い、今後に引き継ぐための事業組織の機能的運用を図り、事業を継続させるため人材育成する。更に、会として事業活動が円滑に遂行でき、会員・役員相互の信頼関係を築き、互いの責務が果たすことができる団体として機能することが重要である。学術団体として、当会が目的として掲げている県民の健康増進、疾病予防等の公益性の高い事業展開を心掛け、社会に貢献する臨床検査技師を目指す人材の育成が必要である。一方、職能団体として、臨床検査技師が安定・安心できる職場環境の整備と社会的認知度の向上を目指すことも大切である。

事業は3つの公益目的事業（衛生思想向上事業、精度管理事業、学術事業）と2つの共益事業（会員資質向上事業、広報事業）、法人事務局事業に大別し、それぞれの事業計画は次のとおりである。

### ●事業推進は公益目的事業の3事業を行う。

1. 公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を行う。



松尾会員



2. 臨床検査の標準化の推進、並びに精度管理調査及び指導を行う。

3. 学術及び技術の振興を行う。

●組織活動は共益事業の2事業を行う。

1. 会員の交流、連携強化のため会員資質向上事業活動を行う。

2. 県民・会員への情報提供を図り、活動の推進を促す。

●法人事務局は、総務部と経理部からなり、会員管理及び法人に関する所掌事務と会計事務を行う。

＜平成26年度 事業予算案およびその他の事項＞

総予算2,414万円（前年度比10万円減）で承認された。

当会が、公益社団法人の監督官庁である兵庫県に「平成26年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」を提出することも承認された。

＜「公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会会員及び会費等に関する規程」一部改定について（案）＞

会費の使用目的を規程内に明記する旨が県から指示があり、第11条2項とし「正会員の会費は、一事業年度における合計額の20%以上を当該年度の公益目的事業に使用し、賛助会費の会費は公益目的事業のために使用するものとする。」を追加することも承認された。

総会にて会員から平成26年度事業計画案の公益目的事業(2)に記載されている登録衛生検査所の名称を法律上使われている「衛生検査所」に変更したほうが良いとの提案があり、富永会長より確認し変更するとの回答があった。また会員から質問のあった日臨技会員と兵臨技会員については、双方に入会するように推進していること、他府県の研修会に参加する際の参加費については、研修会案内に記載することの説明があった。

平成26年度は、(一社)日本臨床衛生検査技師会近畿支部学会の担当県として、会員の理解と協力を得て、組織力と成功させる意欲を持って進めてまいります。また、平成28年には全国学会と国際学会の神戸開催が決定しており、間髪入れずに大きなイベントに取り組んでいかなければなりません。会員並びに関係各位にご理解とご支援を頂き、心に残る学会として成功させたいと思っています。会員、賛助会員、並びに兵庫県をはじめ、県医師会、各医療関係団体には、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(平成25年度 臨時総会議案書一部抜粋)



## 各部局報告

### 渉 外

#### 第41回兵庫県医療職団体協議会合同研修会 (3月16日)



兵庫県看護協会会館(ハーモニーホール)に於いて、「みんなで考えよう!これからの在宅医療」をテーマに標記研修会が開催されました。

兵庫県の65歳以上の人口割合は23%以上(平成24年4月現在)、郡部は30%となっています。団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が検討されています。今回パネルディスカッション形式で、各医療職専門団体のパネラーが在宅医療への役割について講演し、一般市民の皆様と一緒に考えました。当会からは中筋幸司会員(宝塚市立病院)が「これからの在宅医療を考える」と題して講演しました。



中筋会員



また各医療団体による体験ブースを設け、当会は肺機能検査、動脈酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) 検査の体験、慢性閉塞性肺疾患 (COPD) および動脈硬化関連のパネル展示を行い、50名の方に体験していただきました。中には検査やその結果について熱心に質問される方もおられ、担当した臨床検査技師がわかりやすく説明している姿もみられました。一般の方々に臨床検査技師の仕事をアピールできたと思われま

## 組 織

### 第23回東播地区研修会 (3月1日)

昨年10月オープンした北播磨総合医療センターで標記研修会を開催しました。予想をはるかに上回る90名に参加していただき、大盛況となりました。開催場所が東播磨の中部であったこと、同センターの見学会も実施したこともあり、今まで参加されていない施設や他地区からも参加していただけたのではと思います。また同センターのスタッフや賛助会員の方々のご協力により、滞りなく研修会を終えることができました。感謝申し上げます。

#### ●「腫瘍マーカー昨日、今日、明日」



飯沼 一茂 (アボットジャパン(株))

今回の研修会では癌胎児性抗原であるCEAとAFP、前立腺がんの早期発見に有用なPSAを中心に、抗原発見当初の検査方法から、現在の検査方法まで技術発展の変遷も含めご説明をさせていただきました。

今後の取り組みとしましては、①多項目同時測定による臨床的感度・特異度の改善、②ペプシノーゲンによる萎縮性胃炎の診断などハイリスクグループを抽出するがんの早期発見、③数多く発見されたがん遺伝子の臨床的評価を実施していくこととなります。

以上のような内容で講演させて頂き、皆様が日常の腫瘍マーカー検査を行ううえでの一助となれば幸いです。

#### ● 東播地区研修会に参加して



小林 可奈 (高砂市民病院)

研修会に参加できたことは私にとってとても有意義なものとなり感謝しております。

まず、感染対策の基礎について吉田先生(神戸大学医学部附属病院)の講演がありました。今は採血業務が主ということもあり、先生の話聞いて、医療従事者は格好の感染経路になり得ることを念頭において日々の業務に当たらなければと改めて思いました。

飯沼先生(アボットジャパン(株))は腫瘍マーカー検査が確立されるまでの経緯などについてお話をくださり、検査を違った視点から考える良い機会となりました。

最後は久保田先生(北播磨総合医療センター)による血管エコーについての講演でした。私は昨年7月からエコーについて学び始め、まだエコーに触れる機会は少ないのですが、久保田先生が教えてくださったように、見えなければ窓を作ればいい(エコー窓)というコツや、プローブの角度や患者さんの体位を少し変えるだけで見え方が違ってくるといった点など、とても勉強になりました。実践に繋がれるように、もっともっと勉強したくなり、良い刺激を受けました。



賛助会員

ヨリス [26]

alfresa

アルフレッサ ファーマ(株)

～時代が求める新たな

“Unmet Medical Needs”に挑戦します～

末本 理憲 (大阪第1支店医薬診断薬4課)

アルフレッサ ファーマは、時代が求める新たな“Unmet Medical Needs”に積極的にチャレンジし、ユニークで存在感のある医薬品、診断薬、医療機器および健康関連製品の研究、開発、製造、販売を通して、世界の人々の健康文化に貢献することを経営理念としています。Unmet Medical Needs (アンメットメディカルニーズ) は、「未だ満たされていない医療ニーズ」「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ」を意味します。アルフレッサ ファーマは、Unmet Medical Needsへの取り組みとして様々なオーファンドラッグを販売しています。オーファン・ドラッグは稀少疾病用医薬品とも呼ばれ、難病といわれるような、患者さんの数が少なく治療法も確立されていない病気のためのくすりです。当社が手掛けているオーファンドラッグに関連する疾病についてご紹介します。

### 1. ハンチントン病

ハンチントン病は、慢性進行性の神経変性疾患で、舞踏運動、精神症状、行動異常、認知障害などの症状が特徴です。これらの症状はいつの間にかに始まり、ゆっくり進行します。現在のところハンチントン病の根本的な治療法は、残念ながらありませんが、この疾患に伴う舞踏運動などの不随意運動や精神症状などの症状を薬物治療により緩和することが出来ます。

またハンチントン病は、医療費の患者自己負担分の公的な助成(公費負担医療)を受けることができる特定疾患の一つであり、平成24年度は全国で851人の患者さんに特定疾患(ハンチントン病)医療受給者証が発行されています。

### 2. ウィルソン病

ウィルソン病は、日常生活において食事で摂取された銅が、正常に肝臓から胆汁中・腸管中に排泄されず、肝臓・脳・腎臓などに銅が多量に蓄積することによって肝臓や神経などに重い障害を引き起こす病気です。その原因は摂取された銅がうまく運ばれないことによります。ウィルソン病は3万人～4万人に1人の割合で発症するとされています。発症年齢が3-50歳と幅広く、発症のピークは10-11歳頃で性差は認められていません。ウィルソン病は進行性であり、無治療で放置されれば肝不全、神経障害により死の転帰をとる予後不良な疾患ですが、早期に発見し治療を行えば十分な社会復帰あるいは発症の予防が可能な遺伝性疾患です。

### 3. ナルコレプシー

ナルコレプシーは、日本語では「居眠り病」といわれる睡眠障害の一つです。ナルコレプシーの一番の基本的な症状は、昼間に強い眠気がくりかえしておこり、どうしても耐えられなくなってしまう「日中の過剰な眠気」です。もちろん、日中の眠気は、前夜の睡眠不足のときや食後などの条件によっては誰にでも起こりますが、ナルコレプシーの場合、よく眠っていても空腹でも関係なく眠気がおそい、また毎日くりかえして眠くなり、しかも一日に何度もおこり、それが長期的(最低3ヶ月以上)に続くというものです。

ナルコレプシーの主な症状としては、日中の過剰な眠気以外に、笑ったり、得意になったりしたときなどに体の力が抜ける(情動脱力発作、カタプレキシー)、寝入りばなに幻覚をみたり(入眠時幻覚)、金縛り(睡眠麻痺)などがあります。

この疾患の原因としては、目を覚まし続ける役割を持っているオレキシシンといわれるタンパク質を作り出すことが出来なくなることによって起こるとされています。

多くは思春期の頃に発症しますが、30歳や40歳という年齢で発症することもあります。日本人の発症の割合は、およそ600人に1人ほどと推定されています。

われわれは、2013年度から診断薬と医薬の両方のMR活動ができる事を目指して現在資格研修中です。いわゆる「ハイブリッド型MR」として検査、診断、治療の各面における情報活動ができるMRを目指しています。今後ともよろしく願いいたします。

## めらんじゅーるな 空間

[2]

新年度を迎え、新入職員の方々は希望と不安を胸に新たな気持ちで過ごしておられることと思う。同時に、歓迎会の時期となっている。自己紹介から始まり、宴もたけなわとなると趣味、特技の話となるが、もう一つ血液型の話で必ずと言っていいほど盛り上がる。

ABO血液型…と言えば、ランドシュタイナーと古畑種基が思い浮かぶ。学生時代にフラッシュバックすると、ABO血液型を発見したのは、ランドシュタイナーであることを学んだ。1900年に、彼はある人の血清が他の人の赤血球を凝集させることを見つけ、この実験から、A型、B型、C型(発見当初はABCと言っていたそうである)と呼ばれる3つの血液型を明らかにした。この研究によって、1930年に、彼はノーベル医学生理学賞を受賞した。この頃日本では、法医学の草分けの一人である古畑種基が血液型の研究を行い、多大な功績を残している(古畑任三郎の名前の由来は、この方からではないそうだ)。

血液型はABO以外にも、HLA、Rh、P、MN、Qなどの約300種類あって、血球表面の糖鎖構造の違いで分類しているが、ではどうして糖鎖は生えているのだろう。それは体外の異物であるウイルスや細菌を細胞内に侵入させにくくするため、細胞は長い年月をかけて血液型(=糖鎖)のバリエーションを生み出したとされる。例えば、中世のヨーロッパで流行ったペストで人口の1/3から1/4が亡くなったことがあって、今ヨーロッパで一番人口の多いA型の人はペストに強いそうだ。それは他の血液型はこの時かなりペストにやられた可能性が高いとか。また、梅毒の発祥地である中南米の原住民はO型が多く、コレラがよく流行するインドはB型が多いらしい。

人間以外の血液型も調べてみると、ゴリラは全員B型、鯨、牛、亀もほとんどがB型、チンパンジー、豚はA型90%とO型10%、魚類はすべてA型、蛙はほとんどがAB型、蛇はA型とB型。…ってことは、ゴリラはマイペースで行動的、物事に夢中になって取り組むのも早いが飽きるのも早い…なるほど。ところが犬はDEA(Dog Erythrocyte Antigen)型で分類(国際基準としては8種類の血液型が認められている)されていて、血液型により性格も異なるそうだ。やっぱりそうなんだ。では、大手術の時は輸血も大変ではないだろうか…ふとそう思った。

(敬称略)

参考文献：古畑種基、血液型の話(岩波新書)

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●北播磨総合医療センター

交 通：JR市場駅下車 無料シャトルバス6分

採用条件：臨時職員

業務内容：外来患者採血業務

連絡先：0794-88-8800 内線3865(藤田)

### ●(医)協和会 第二協立病院

交 通：阪急川西能勢口下車 徒歩5分

採用条件：正社員・臨時職員

業務内容：生体検査・生理検査

連絡先：072-758-1123(柴生<sup>しばお</sup>)

### ●(医)伍仁会 岡本クリニック

交 通：JR三宮駅下車 徒歩1分

採用条件：臨時職員

業務内容：クリニック・健診センターにおける超音波検査業務

連絡先：078-372-1515(事業本部 村上)

### ●こやまクリニック

交 通：神戸電鉄山の街駅下車 徒歩10分

採用条件：正社員・アルバイト

業務内容：検査業務全般

連絡先：078-581-1123(事務長 遠藤)